

■ グループ紹介

T D K 株 式 会 社

1. 沿革

当社は日本の独創的発明であるフェライトコア（鉄の酸化物を含んだ化合物の結晶体からなる磁性材料）の工業化を目的として、昭和10年12月に東京電気化学工業株式会社（現TDK株式会社）の社名にて東京都蒲田で創業致しました。以来創業の精神をうたった、「創造によって文化、産業に貢献する」を社是とし、フェライト技術を根幹とする素材技術を基盤としてファインセラミックスと磁気記録の分野を事業の核として取り組んでまいり、現在国内8か所、海外12か所に生産拠点を有する世界的なエレクトロニクス素材メーカーへと成長するに至りました。

2. 事業内容

当社は電子機器の総合素材・部品メーカーとしてフェライトコア、フェライトマグネット、セラミックコンデンサ等並びにこれらの応用製品及び記録メディア製品の製造・販売を行っております。これらの品目分野別の業容は概ね次の通りです。

* フェライト及びマグネット他磁性材料・部品行業

フェライト事業部、マグネット事業部、ヘッド事業部、電波事業部の4事業部が関連し、フェライトコア、フェライトマグネット、希土類マグネット、磁気ヘッド、電波吸収体等を主要品目として販売高比率27%を占める。

* セラミックコンデンサ他セラミックス分野

セラミック事業部によるセラミックコンデンサをはじめとする積層チップコンデンサ・インダクタ等のチップ部品、サーミスタ、バリスタ他のエレクトロニック・セラミックス製品で販売高比率12%を占める。

* 電子機器応用部品行業

部品事業部及び電源事業部が関連するコイル、トランス、ノイズフィルター、厚膜IC、複合部品、スイッチング電源他の上記素材応用製品で販売高比率22%を占める。

* 記録メディア分野

記録メディア事業本部でのオーディオテープ、ビデオ

テープ、フロッピーディスク他磁気記録関連製品で販売高比率32%を占める。

* その他

FA事業部、設備開発事業部が関連する電子部品自動装入・装着機（アビサート、アビマウント）、端末装置、搬送装置等、SSI事業部での半導体製品及び新製品開発事業部での薄膜ヘッド、サーマルヘッド等の新製品並びに素材・部品周辺の多角化製品で販売高比率7%を占める。

3. 現況

資本金	160億2千万円（平成2年3月末現在）
従業員	8102名（平成2年3月末現在）
売上高	3793億円（平成2年3月期）
本社	東京都中央区日本橋1-13-1
生産拠点	国内8か所（19工場）、海外12か所
営業拠点	国内27か所、海外43か所

4. 研究開発

当社はフェライトの工業化を手がけて以来、素材技術を基盤としたファインセラミックスと磁気記録の分野を事業の核として参りました。創業五十五年を経た現在もフェライトとその応用を更に深耕・開拓すべく常に新たな技術革新に取り組んでおります。また併せて、半導体、光エレクトロニクス等の先端分野での要素技術の蓄積強化も鋭意進めており、新規分野開拓、事業多角化を図って参るべく積極的な研究投資を行っております。ことに一昨年来、研究開発体制・環境の充実整備と技術開発のスピードアップを促進すべく、千葉県成田市に基礎材料研究所と千葉県市川市にテクニカルセンターを建設・稼働させ、既存の開発研究所と合わせて将来性豊かな研究開発体制を築きました。

研究開発活動支援の面でも、新材料や新設計による製品をタイムリーに市場投入できるよう、技術ソフトの分野でのスーパーコンピュータの活用にも努めており、ハードの充実をはじめ技術要員の教育・養成にも積極的な投資を行ってきました。また、研究者の育成・活性化の一環として国際的視野の拡大を図るため、欧米

の大学間との研究員の派遣・受入の相互交流も活発に行い、着実に成果をあげています。

近年の主な研究開発成果の一例としては、集積積層部品（マルチレイヤー・ハイブリット回路）、光磁気ディスク、追記型光ディスク、高性能薄膜磁気ヘッド、ビデオプリンタ用高速サーマルヘッド、薄型電源、高

層ビル用電波吸収体等が挙げられます。これらの新製品は市場で高い技術的評価を得ており、大きな業績寄与が期待されるものです。

所在地：〒272 千葉県市川市東和田 2-15-7

（文責：開発研究所企画部課長 田淵 克彦）

協賛行事ごあんない

**太陽光発電システムシンポジウム
開催ご案内**

太陽エネルギーの有効利用のため、太陽光発電が当面している課題につき、実践的な発表とディスカッションを展開する事を目的にシンポジウムを開催いたしますので奮ってご参加下さい。

日 時：平成 3 年 6 月 11 日（火）12 日（水）13 日（木） 3 日間
午前 9 時 45 分より午後 5 時 5 分まで

場 所：電機工業会館（4Fホール） 千代田区永田町 2 丁目 4 番 15 号

主なテーマ：太陽光発電システム技術開発、周辺機器・システム事例

講 師：学識経験者、メーカー技術者 他

参加費：太陽光発電懇話会会員 30,000円 会員外 40,000円
国公立研究機関 20,000円

後 援：通商産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、太陽光発電技術
研究組合

協 賛：(株)日本電機工業会、日本太陽エネルギー学会、(財)ソーラーシステム振興協会、(財)新
エネルギー財団、エネルギー・資源学会、新工業化住宅生産技術・システム開発技
術研究組合、グラントソーラーチャレンジ推進会議

主 催：太陽光発電懇話会

参加申込み及び問合せ：(株)アイシー東京営業所内
太陽光発電シンポジウム係

TEL 03-3818-5786

FAX 03-3818-5975

〒113 東京都文京区湯島 1 丁目 3 番 4 号、お茶の水聖橋ビル 1F